

# 南アメリカ州 ～アマゾンの未来をデザインする～①

( ) 組 ( ) 番 ( )

【Step 1】探求 (Explore) : 課題の構造を理解する

## 1. 《つながりマップ》

教科書や資料集を使い、「日本の私たちの生活」と「アマゾンの熱帯林減少」の間にある関係を、キーワード（牛肉、大豆、木材、焼畑、道路建設など）を使って矢印で結んでみよう。



## 2. 《批判的問い》

開発を進めることで「豊かになる人」と、逆に「困る人」はそれぞれ誰だろうか？

豊かになる人：

困る人：

# 南アメリカ州 ～アマゾンの未来をデザインする～②

( ) 組 ( ) 番 ( )

【Step 2】想像 (Imagine) : 解決策のモデル化 (AI との対話)

## 1. 《あなたの初期アイデア》

「経済発展」と「環境保護」を両立させるための、あなたなりの新しいアイデアを自由に書いてみよう。

## 2. 《AI による視点の拡張》

AI に「自分の案への反対意見」を出させ、自分の考えになかった視点をメモしよう。

AI が指摘した「この案の弱点」:

AI の指摘を受けて、どう修正する? :

# 南アメリカ州 ～アマゾンの未来をデザインする～③

( ) 組 ( ) 番 ( )

【Step 3】実行（Create）：開発計画書を完成させる

計画タイトル： 「 」

○具体的な施策： （誰が、何を、どうするのか）

○期待される効果：

○この案の「限界」： （完璧ではない部分、まだ解決できない課題をあえて書く）

【Step 4】省察（Reflect）：学びの評価

## 1. 《相互評価（クリティーク）》

友だちの案を見て、以下の基準でコメントしよう。

○創造性： 既存の知識を組み合わせ、新しい視点を生んでいるか。

○批判的思考： 複数の立場を比較し、根拠が示されているか。

	創造性	批判的思考
4 卓越	経済と環境の対立を超え、他地域にも応用可能な斬新な統合案を提示している。	複数の立場（政府、NGO、住民等）の利害を精密に分析し、案の限界まで自覚している。
3 優れている	既存の知識を組み合わせ、独自の視点で説得力のある解決策を提案している。	根拠（統計や地理的条件）に基づき、論理的な一貫性を持って主張している。
2 発現	一般的な事例の枠内だが、自分なりの工夫が一部に見られる。	単一の視点（例：環境のみ）から評価しており、根拠の提示が部分的である。
1 未達	教科書の記述の模倣にとどまり、独自の提案が見られない。	主観的な感想が中心で、客観的なデータや多角的な視点が欠如している。

## 2. 《最終リフレクション》

他者の視点に触れ、自分の案をさらに改善するとしたら、次はどう動くべきだろうか？